

議員氏名：浜井 直彦

議案番号：陳情第3号

案 件 名：地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

討論内容：

私は、総務建設経済常任委員会において不採択と決しました陳情第3号「地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情書」に対し、反対の立場から討論を行います。

本陳情が掲げる、防災対策や地域公共交通の確保といった項目は、我が二宮町にとっても重要であり、私も強く同調するものであります。しかしながら、全11項目に及ぶ内容は多岐にわたり、全てが本町の実情に合致しているとは言えません。

例えば、本町は自前の公立病院を抱えておらず、医療体制は近隣自治体との広域連携を基本としています。また、人件費や給与改善の恒久化や徹底を求める項目は、働く方の処遇改善という正論の裏で、もし国の財源措置が不十分であった場合、本町の限られた一般財源を圧迫し、財政の硬直化を招くリスクをはらんでいます。

委員会での審査でも、もらえるものはいずれありますが、国全体の財源問題を考えれば、巡り巡って住民への増税を招きかねないとの懸念や、項目が細部にわたる以上、全てが町に合致していない限り採択はできないという慎重な意見が出されました。

国へ意見書を提出することは、それが二宮町民の総意であるという重い責任を伴います。一部によいことが書いてあるからと、疑問やリスクの残る項目まで丸ごと一括で採択することは、議会としての審査の責任を放棄することにつながりかねません。

私たちは、全国一律の要求をうのみにするのではなく、あくまで二宮町議会としての主体性を持ち、町民の負担や町財政への影響を冷静に見極める必要があります。一部に同調できる項目があるからこそ、不一致な項目を含むパッケージでの採択はできないと判断し、委員会としては可否同数、委員長採決をもって不採択と決した次第です。

議員各位におかれましては、本町における行政運営の独立性と住民への誠実な財政責任を守るため、本陳情に対し賢明なる反対のご賛同を賜りますよう強くお願い申し上げ、私の反対討論といたします。